

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
05101	土地改良事業	産業振興課	耕地林務係	中村良治	西原 功
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2143
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0625	国庫補助土地改良事業	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0628	町単土地改良事業	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	1章	美しく豊かな自然環境	
		節 (コード選択)	3節	水環境の保全と活用を図る	
		項[基本施策] (コード選択)	131	水源環境の保全と活用	
主な取り組み (コード選択)		1314	土地改良事業(用排水路改修)		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

農地(特に水田)、農村全体を含む農家

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

水路を改修することにより漏水を抑え、水田へ農業用水を安定に供給する

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	水路の改修工事を行う(石積み水路、排水フリューム等を設置する)
2	ベンチフリューム、塩ビパイプなどの資材を支給する
3	
4	

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	発注工事による水路改修延長		M	571	462	500	0.92	462
	説明	町が業者に発注して改修した水路の延長		目標値設定の根拠	平成21年度実績から見込む				
②	指標名	資材現物支給件数		件	25	25	20	1.25	25
	説明	ベンチフリュームなどの資材を支給した件数		目標値設定の根拠	平成21年度実績から見込む				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	国庫補助事業の改修率		%	38	62	62	1.00	62
	説明	国庫補助事業の計画延長619mに対して改修した水路の改修率		目標値設定の根拠	21年度から新規事業(L=619m)22年度完了				
②	指標名	資材支援による水路改修延長		M	365	281	300	0.94	281
	説明	各地区に提供した資材により改修された水路延長		目標値設定の根拠	平成21年度実績から見込む				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	24,020	30,338	34,998	35,909																		
対前年比	%		126.3	115.4	102.6																		
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		7,226	8,510	13,065	14,912																		
B) 一般財源(税金)		16,794	21,828	21,933	20,997																		
①事業費	(千円)	17,935	24,250	28,899	30,022																		
対前年比	%		135.2	119.2	103.9																		
②人件費の概算	(千円)	6,085	6,088	6,099	5,887																		
対前年比	%		100	100.2	96.5																		
	課長	課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費						
	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23							
町職員(正規職員)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.82	0.83	0.83	0.83	6,085	6,088	6,099	5,887			
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート												0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 区を通じて要望を把握し、現地調査を行い、実績報告または検査などで事業成果を確認している。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

水路などの農業用施設は耐用年数を迎え、随時更新の必要性がある。この中で、「きめ細かな臨時交付金」の採択により一定区間を効果的に改修することができた。また、地域でできるものは地域で行う観点から、事業定着してきた「資材地域支援事業」に対する取り組みも引き続き積極的に行った。また、補正予算により「農業活性化緊急基金整備事業」の採択を受け、町内10箇所の実施が可能となり全て23年度繰越で行うこととなった。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

農業用施設(用水路など)工事の早期発注早期完成を目指すと共に、国の施策動向に沿い効果的に補助採択を受ける。地域資材支援事業の要望に対しては、課題に対する改善方法の検討及びアドバイスをおこない、積極的に支援していく。

23年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

町単土地改良事業、(国庫補助土地改良事業は委託費のみ)

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

遊休荒廃地の拡大を防ぐためにも土地改良事業は必要である。資材支援を含め継続実施

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択